

令和5年度 第53回九州中学校バスケットボール競技大会

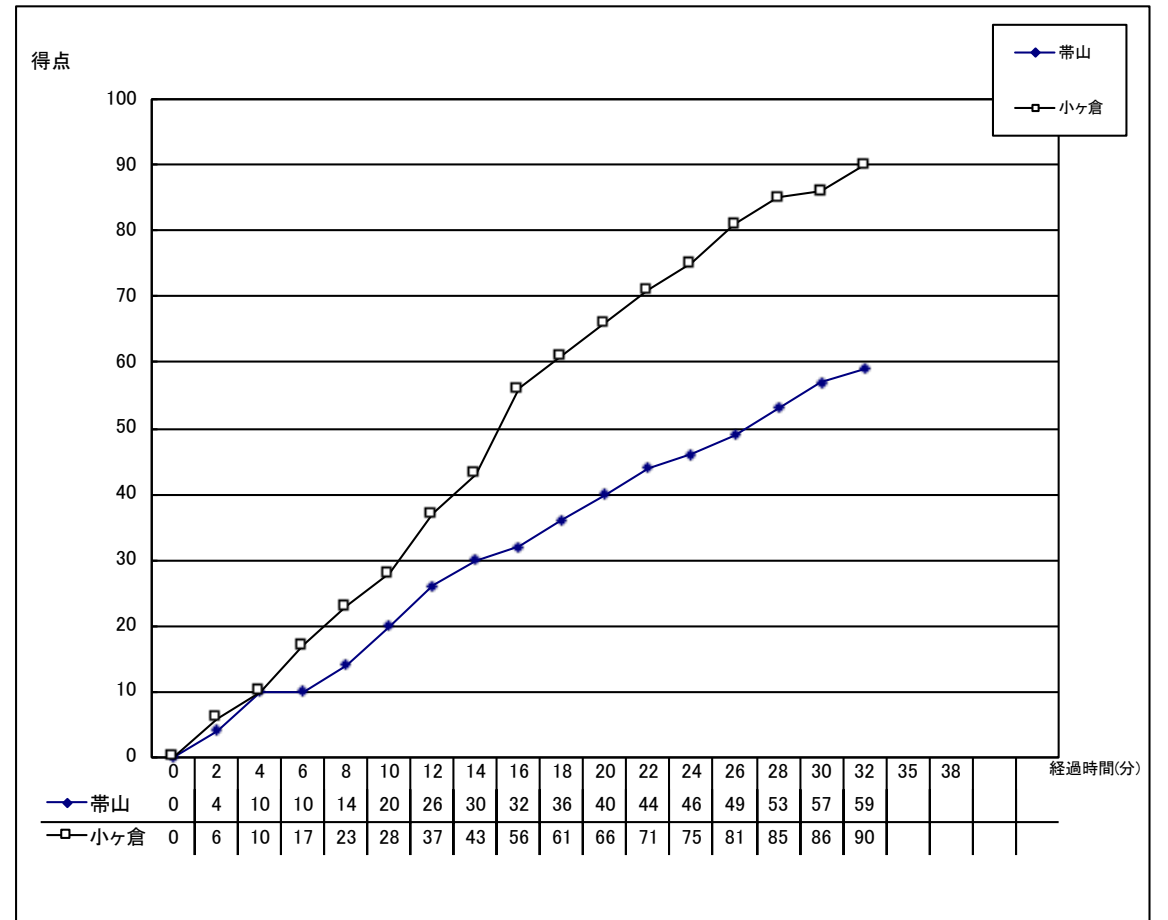
個人データ表

男子 1回戦	令和5年8月8日	18:00 開始
会場：益城町総合体育館	Cコート	第4試合
主審：川井 剛	副審：赤嶺政弥 村上雄磨	

帯山	59	14	1 Q	23	90	☆ 小ヶ倉 長崎
熊本		18	2 Q	33		
		14	3 Q	19		
		13	4 Q	15		

帯山												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
○ 4	古庄 海翔	2		1	1	1				3		1
○ 5	上田 爽獅									4	1	1
○ 6	平江 光			1						1		
7	宮崎 龍斗											
8	木村 慧智											
9	井 大成											
10	稲田 詠											
11	柴田 和樹											
12	杉水 煌史											
13	梶原 大禪											
14	松尾 悠凜											
15	吉武 悠											
16	松永 来希	1		1			1	1	1	1		1
○ 17	ソップ・ハンソン	28	1	4	10	10	5	5	2	11		11
○ 18	ソップ・デビシー	28	1	5	11	11	3	3	1	5	3	8
コーチ 岩本 亮一												
合計		59	2	12	22	22	9	9	12	18	4	22
成功率			16.7%		100.0%		100.0%					

小ヶ倉												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
1	榊 優規	5	1	1	1	3			3		1	1
2	楊野 聡介	5	1	3	1	1						
3	徳永 大雅	1					1	2	2			
○ 4	高平 爽太	18	2	5	5	12	2	4		2	2	4
○ 5	工村 祥元	9			4	6	1	2	2	3	3	6
○ 6	山下 瑞空	15		3	7	12	1	4	3	2	2	4
○ 7	池田 一颯	12	2	3	3	14			1		1	1
○ 8	川内 漱也	7	2	6			1	1	2			
9	滝川 雄翔								1	1		1
10	藤本 海斗	3	1	2					1		2	2
11	山口 翔					2						
12	生駒 大成					1				1		1
13	岡田 莉空			2								
14	野上 大輝	15	2	3	4	7	1	1	2	1		1
15	永留 大					1					1	1
コーチ 永野 大輔												
合計		90	11	28	25	59	7	14	17	10	12	22
成功率			39.3%		42.4%		50.0%					



《戦評》

1 Q : 両チームともにハーフコートのディフェンスから入る。小ヶ倉#7の速攻で得点。すぐに帯山#18の3Pで返す。小ヶ倉#8、#5の連続得点。8-4になったところで帯山1回目のタイムアウト。その後、一進一退の攻防が始まる。帯山の連続得点で、10-10になるが、小ヶ倉#7の3Pで3点差に。小ヶ倉#5がミドルシュートを決めた後、オールコートマンツーマンを仕掛ける。小ヶ倉は、#14の3Pや#6の1対1で得点を重ねる。帯山は、#18のインサイドプレイで得点を返す。1Qは、23対14で小ヶ倉リードで終了。

2 Q : 小ヶ倉#7の3Pに対し、帯山#17がリバウンドを取り得点。帯山#4がカットから速攻で得点したところで、小ヶ倉前半1回目のタイムアウト。小ヶ倉#4の1対1での得点の後、帯山は#17がインサイドプレイで連続得点。小ヶ倉#6のバスケットカウントの後、帯山前半2回目のタイムアウト。小ヶ倉の激しいディフェンスの中、帯山は、#17のポストプレイで得点。小ヶ倉#8が3Pでファールをもらいフリースローも決める。その後、両チーム得点を重ねるが、小ヶ倉のオールコートマンツーマンなどディフェンスの圧力で帯山の得点が伸びず、徐々に得点が離れる。小ヶ倉交代の選手#2が3Pを決める。帯山は#17のインサイドで得点を返す。56-32で小ヶ倉リードで前半終了。

3 Q : 小ヶ倉#4の3P。すぐに、帯山#18がゴール下で得点。小ヶ倉#6がリバウンドから得点し、25点差に。小ヶ倉は#4の3P、帯山は#18、#17のポストプレイから得点を重ねる。お互いに、激しいディフェンスのなかで点を取り合い、一進一退の攻防が続く。3Qは、75-46で終了。

4 Q : 小ヶ倉#6がゴール下のシュートを決めてスタートするが、帯山#17が3Pを決めて追いつける。小ヶ倉は#5がカットから速攻で得点を決める。帯山は#17のポストプレイで返す。小ヶ倉の速い展開で、帯山のファールが重なり、帯山たまたまタイムアウト。帯山#18、17のインサイドプレイで得点。オールコートマンツーマンなど激しいディフェンをする小ヶ倉の#2が得点したところで帯山最後のタイムアウト。最後は、帯山#18がフリースローを決めて90-59で小ヶ倉の勝利で終了。

最後まで、自分たちのバスケットボールスタイルを貫き、お互いの良さを発揮したナイスゲームだった。素晴らしい試合をした両チームに拍手を送りたい。 戦評記者 荒木鉄成 (南阿蘇町立南阿蘇中学校)